

ワークシートNo.19

[illegible]

貧血用薬

製品群No. 24

ワークシートNo.19

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C' 重篤ではないが、注意 すべき副作用のおそれ	D 適用のお それ	E 患者背景(既往歴、治療状況等) (重篤な副作用につながるおそれ)	F 効能・効果(症状の悪化 につながるおそれ)	G 使用方法(飲用のおそれ)	H スイッチ 化等に伴う 副作用環境 の変化	効能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ	適用に基づく 習慣性	重篤な副作用 （特異性・毒性に よるもの）	症状の悪化 （特異性・毒性に よるもの）	使用方法(飲用のおそれ)	スイッチ化 等に伴う副作用環境 の変化	用法用量
薬理作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
相互作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
重篤な副作用のおそれ	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
適用のおそれ	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
患者背景(既往歴、治療状況等)	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
効能・効果(症状の悪化につながるおそれ)	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
使用方法(飲用のおそれ)	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
スイッチ化等に伴う副作用環境の変化	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用
効能効果	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用	鉄剤作用

貧血用薬

製品群No. 24

ワークシートNo.19

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C' 重篤ではないが、注意 すべき副作用のおそれ	D 産用のお それ	E 患者背景(既往歴、治療状況等) (重篤な副作用につながるおそれ)	F 効能・効果(症状の悪化 につながるおそれ)	G 使用方法(服用のおそれ)	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	用法用量	効能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ	産用に基づく 習慣性	重症・重症に 関与するもの によるもの	症状の悪化 につながるお それ	使用方法(服用のおそれ)	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化		
		併用禁忌(他 剤との併用に より重大な問 題が生ずる おそれ)	重篤な副作用に 関与するもの によるもの	重篤な副作用に 関与するもの によるもの	産用に基づく 習慣性	重症・重症に 関与するもの によるもの	症状の悪化 につながるお それ	使用方法(服用のおそれ)	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化		
ピタミンC(ア スコルビン 酸)	アスコルビ ン酸(ビタミ ンC)									通常成人1日50～2,000m gを1～2回に分けて経口 投与する。 なお、年齢、症状により適 量増減する。高齢者で減 量。	1.ピタミンC を欠乏する症 の予防 および治療(貧 血、メラレ リン・ハロ ーゲン)。 2.ピタミンC の需要が増大 し、食事から の摂取が十分 でない場合 (消耗性貧血、 妊娠、授乳、 病後、はげしい 身体労働時な ど)。2.下記 疾患のうち、ピ タミンCの欠乏 又は代謝障害 が関与すると 推定される場 合。毛細血管 出血(鼻出血、 歯肉出血、婦 科出血、血尿 など)、造血機 能障害、骨 折、骨折後の 癒合不良、骨 形成・骨癒合 促進、炎症反 応の色素沈着、 光線過敏性皮 膚炎。 なお、2の効 能・効果に對し て、効量がな いのに月余に わたって連続 と使用すべき でない。

製品群No. 24

ワークシートNo.19

6/7

藥用血貧

製品群No. 24

ワークシートNo.19

[illegible]

ワークシートNo.20

[illegible]

ワークシートNo.20

[illegible]

製品群No. 26

製品群No. 26

3/5

ワークシートNo.20

[illegible]

ワークシートNo.21

成分與性質

含嗽薬 製品群No. 27

ワーグシートNo.21

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C' 重篤ではないが、注意 すべき副作用のおそれ	D 薬用のお それ	E 患者背景（既往症、治療法等） （重篤な副作用につながるおそれ）	F 効能・効果（症状の悪化 につながるおそれ）	G 使用方法（使用法のおそれ）	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	効能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理に基づ く薬性	慎重投与 （投与により障害の 発生・悪化のおそ れ）	症状の悪化 につながるおそ それ	使用方法（使用法のおそれ）	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化	用法用量
		相互作用 併用禁忌（他 剤との併用に より重篤な副 作用が起きる おそれ）	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異体質・ア レルギー等 に基づくもの によるもの	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ 薬理・毒性に 基づくもの によるもの			症状の悪化 につながるおそ それ	使用方法（使用法のおそれ） 使用量に上 限があるもの のおそれ	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化	
抗 炎 成 分	グリチルリチ ン酸二カリウ ム	ノイホルミチ ン点眼、含 嗽は無い ため	抗アレルギー 作用、角質上 皮再生促進 作用を有する					点眼用のみ使 用（点眼として の注意）		通常、1回2～3滴を1日5 ～6回点眼する。なお、症 状により用量を増減する。
清 涼 化 成 分	トメントール 、 リモネン、 メントール 、 ミヤザ ウ	清涼感・爽快感								芳香・爽快感・清 涼の目的で調 剤に用いる。

内用痔疾用薬

製品群No. 29

ワークシートNo.22

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C 重篤ではないが、注意 すべき副作用のおそれ	D 適用のお それ	E 重篤な副作用につながら るおそれ	F 効能・効果（重症の悪化 につながるおそれ）	G 使用方法（重症使用のおそれ）	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	用法用量	効能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ	適用に基づく 習慣性	慎重投与 (投与により重症の 重篤な副作用のおそれ がある)	重症の悪化 につながるおそれ がある	使用方法（重症使用のおそれ） 使用量に上 適用量・重症 使用量があるもの	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化		
血行改善成分	最小薬量系 の薬理作用 を有し、末梢 血管を収縮 させ、末梢 血管を拡張 させる作用 を有し、血 管の透過性 や血管抵抗 性を改善す る。 抗酸化作用 を有し、過 酸化脂質の生 成を抑制す る。 内分泌系の 働き作用を 有し、内分泌 の失調を正 す。	併用禁忌(他 剤との併用に より重大な問 題が生ずる おそれ)	薬理・重症に 基づくもの によるもの	重症ではないが、注意すべ き副作用のおそれ 薬理・重症に 基づくもの によるもの	適用に基づく 習慣性	慎重投与 (投与により重症の 重篤な副作用のおそれ がある)	重症の悪化 につながるおそれ がある	使用方法（重症使用のおそれ） 使用量に上 適用量・重症 使用量があるもの	スイッチ化 等に伴う使 用環境の変 化	通常、成人には1回1～2 錠(糖衣トコフェロールとし て、50～100mg)を、1日2 ～3回経口投与する。 なお、年齢、症状により適 宜増減する。	1. ビタミンE欠 乏症の予防及 び治療 2. 末梢循環障 害(閉塞性動脈 硬化、動脈硬化 症、静脈血栓 症、血栓性静 脈炎、糖尿病 性神経障害、凍 瘡、四肢冷感 症) 3. 過酸化脂質 の増加防止

外用痔疾用薬

製品群No. 30

ワークシートNo.23

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	D 差用のおそれ	E 患者数(既往歴、治療状態等) (重篤な副作用につながらず)	F 効能・効果(症状の悪化につながらず)	G 使用方法(服用のおそれ)	H スイッチ 化に伴う 使用環境の 変化	I 効果 変化
評価の観点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	差用におそれ	重篤な副作用のおそれ	効能・効果(症状の悪化につながらず)	使用方法(服用のおそれ)	スイッチ 化に伴う 使用環境の 変化	効果 変化
		併用禁忌(他 剤との併用に より重大な問 題が生ずる おそれ)	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に よるもの	差用におそれ 薬理・毒性に よるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に よるもの	効能・効果(症状の悪化につながらず)	使用方法(服用のおそれ)	スイッチ 化に伴う 使用環境の 変化	効果 変化
アミノ安息香酸エチル	軟膏はあるが、ここでは 痔疾用薬で あるためア ミノ安息香 酸エチル 内服で代用	局所麻酔薬 があり、麻酔 作用を 増強して作用 を弱める。	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に よるもの	差用におそれ 薬理・毒性に よるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に よるもの	効能・効果(症状の悪化につながらず)	使用方法(服用のおそれ)	スイッチ 化に伴う 使用環境の 変化	効果 変化

ワークシートNo.23

[illegible]

ワークシートNo.23

アルドス、ミオバ、リウム直、リウム直

